

せつかくコンパクトに
合併したのだから住民
主体のまちづくり
をお願いします。

旧町村に当分に施設を
配置するようなことでは
なく、50年100年先を
見据えたまちづくり
計画を希望します。

高齢化や介護だけに力を
入れず、もっと少子化や子
どもたちが活動する場に力
を入れてほしい。

町全体に活気がないように
感ずる。町に外から人を呼んで活気
のある町にするために行政の力と民間
の力を合わせて何をするか。企業の誘
致や観光振興、公営住宅などいろいろ
あると思います。

高齢化は当然と**思**ってばかり
では**衰**退していく**と思**います。
福祉とは高齢者に対してだけではなく、
時代を担う子どもに対してもっと厚く行
うべきだ**と思**います。子どもをここで育
てたい**と思**えるようになるには、子ども
に対する福祉、親の収入の安定、生活環
境の良さだ**と思**います。

町の活性化といっても
単なる一過性のイベント
に頼るのは感心しない。
定住者を増やすことが重
要。冬季の生活の利便性
向上を望む。それが定住
者増にもつながる。

とにかく若い人にも魅力の
ある町にしてほしい。有名な
特産品もイベントもない
じゃ、一生住んでいよう**と思**
わない。不要な建造物を造
るより、町民のための建造物
を考えてほしい。何より町民
の意見を聞いてください。
かならず良い意見がある
はずです。

多額の税金を投じて開発はしたけど、
利用されずに取り壊すのにさらに多額の
税金、という話を各地で耳にする。本
当に必要なのか、将来を見通した開発
なのか、私たち一人ひとりがもっと
真剣に考えるべき時だ**と思**う。

出典・「総合計画・国土利用計画アンケート報告書」
(平成17年6月・美郷町)

みんなの**声**が 「美郷をつくる」

私がいつも思うことは一番大切なのは人と人との
交わりで、第一に家庭の和、そして隣近所の和、そ
のことが上手に保たれていると自然とまちづくりや
地域社会へと受け継がれていき活気に満ちた住みや
すい町になるだろうと確信しています。

住民参加のまちづく
りと言っているから具
体的に住民に浸透する
運動をすべきではない
でしょうか。掛け声だけ
ではなく積極的に実現してく
ださい。

もっと若い人が働
けるような職場、幼
児が遊べるような施
設等を作るともっと
もっと活気があふれ
てこれからの美郷町
がひらけると思う。

町民の声、要望が行
政サイドへ届きやすい
システムを構築しても
らいたい。

限られた財源の中で、町民の
ニーズに応じていく行政はたい
へんな苦勞が伴うと思います。
施策の優先順位をしっ
かりと見極め、町民と
の合意を形成するため
の息の長い取り組みが
必要になると思います。

町民全員が心身と
もに健康で長生きで
きるようなまちづく
りが一番大切です。

まちづくり＝人づくり
と考えます。教育、人材
の育成が第一ではないで
しょうか。今後の取り組
みに期待しています。

まちづくりは住民と行政
が一体となって作り出して
いけないといけない。一生
住み続けたいと思う町は安心して住
めるところ、医療機関の充実、犯罪
のない町、道路が広い、災害のない
町、自然が美しい町、商業が充実し
ている、働く場所が町内にあるとこ
ろ、こんな町に私は住みたい。

美郷町というすばらしい
ネーミングにふさわしいまち
づくりで、小さい町なが
らも個性的な存在感の
ある町になってほしい
と願っています。

美郷町誕生一周年にあたり、これからのまちづくりについて考えた特集「美郷をつくる」。

「まちづくり」という言葉の「つくる」という主体は誰で、「つくる」ということにはどんな思いが込められていて、そして「つくる」ために何が必要かを、町の取り組みや町民の取り組み、そしてアンケート調査などで寄せられた町民の意見などを通して考えました。

そこから、「美郷のまちづくり」の主体は町民であること、行政が進めようとするまちづくりの施策には町民のいろいろな願いが込められていること、各種施策の計画そして推進にはまず主体である町民の声を広く聴くこと、そして町民みずから自分たちの住んでいる地域を知り、そしてまちづくりに参加すること—そんなことを再認識しました。

美郷のまちづくりは、まだまだ始まったばかりです。町の基本構想の中で掲げられた町の将来像「町民のだれもが住んでよかった、住みつけたいと思えるまち」を目指し、私たちの暮らす美郷町が、私たち町民にとってその名のとおり「美しい郷」となるように、町民と行政とがともに知恵を出し合い、汗を流しながら進んでいくことが「美郷をつくる」第一歩であり、原点ではないか—そんな思いを新たにしました。

「美郷がいちばん、すきです美郷」—そんな美郷をつくるために、まちづくりへのいろいろな形での町民の参加が、今求められています。